

令和3年度の研究（または活動）内容

R3年度の研究(活動)内容

- (1) コロナ禍における大学生の well-being (幸福感) についての調査の企画
- ・定期的にミーティングを開き、関連する先行研究を概観して情報を共有し、論点を議論した。
 - ・関連する研究者の話を聴いた。
 - ・量的調査のアンケート質問項目の絞り込みと調査票を作成中である。
 - ・令和4年度中にアンケート調査を実施予定。

アンケート調査（構想中の内容）

経済学的側面での分析課題：

コロナ禍で学生生活を送る大学生の

- ・消費行動はどのようなものか
- ・コロナ禍による生活スタイルの変化は消費に何らかの影響を及ぼしたか

心理学的側面での分析課題：

コロナ禍で学生生活を送る大学生の

- ・特徴的な欲求（承認欲求・所属欲求・自己実現欲求など）は何か、
- ・どのような状況においてフラストレーション（欲求不満）を感じるのか、
- ・自己効力感や自己肯定感の程度はどうか

コミュニケーション学的側面での分析課題：

- ・コロナ禍下での非対面(直接の対面ではない)コミュニケーション（メッセージ（言語・非言語）の授受、コンテクストの把握等）においての大学生の認識はどうか
- ・コロナ禍下での非言語メッセージ(顔の表情、対人距離、声の使い方等)についての認識はどうか

対象：東北工業大学経営コミュニケーション学科学生 200名程度

(2) 岡田美智男氏（豊橋技術科学大学 情報・知能工学系教授）による講演会

実施日：2022年1月31日（月） 14:00-15:30 Zoomによるオンライン形式

主催：東北工業大学 Well-being 研究所

協賛：東北工業大学知能ロボティクス研究所

後援：東北工業大学研究支援センター

テーマ：「〈弱いロボット〉研究の目指すもの ウェルビーイングを指向する関係論的アプローチ」

概要:「弱いロボット」の研究で有名な岡田先生より、ロボットと人間の関係性について、
昨今注目の「ウェルビーイング」も視野に入れながらご講演いただいた。

参加者: 51名

東北工業大学 Well-being 研究所 令和3年度講演会



講演

〈弱いロボット〉研究の目指すもの

ウェルビーイングを指向する関係論的アプローチ

豊橋技術科学大学 岡田 美智男 教授

「弱いロボット」の研究で有名な岡田先生より、ロボットと人間の関係性について、昨今注目の「ウェルビーイング」も視野に入れながらご講演いただきます。どなたでもご参加いただけます。ぜひ、ご聴講ください。

開催日時 2022年1月31日(月) 14:00~15:30
(13:30~アクセス可能)

定員
300名
(先着)

参加費
無料

開催方法 オンライン会議アプリ「Zoom(ミーティング)」で配信

※あらかじめ「Zoom」をPCやスマートフォンなどのデバイスにインストールしていただきますようお願いいたします。



略歴: 岡田美智男 (おかだみちお)

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系教授。
1987年東北大学大学院工学研究科情報工学専攻
博士後期課程修了、同年 NTT 基礎研究所情報
科学研究部、国際電気通信基礎技術研究所
(ATR) などを経て、2006年より現職。

専門分野は、コミュニケーションの認知科学、社会的ロボティクス、ヒューマン・
ロボットインタラクションなど。主な著書に、『弱いロボット』の思考 わたし・
身体・コミュニケーション』(講談社現代新書)、『弱いロボット』(医学書院)、『ロ
ボット 共生にむけたインタラクション』(東京大学出版会、印刷中) など。



申込方法

- 事前申し込みが必要です。
- 申込締め切り: 2022年1月24日(月)

<https://forms.office.com/r/uwF2Pp5rc6>

もしくはQRコードからお申込みください。

- ※開催3日前までに、参加用 Zoom URL、ID、
パスコードをメールにてお送りいたします。



入カフォーム
QRコード

※ZoomおよびZoom(ロゴ)は、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または特許です。

主催: 東北工業大学 Well-being 研究所
協賛: 東北工業大学知能ロボティクス研究所
後援: 東北工業大学研究支援センター

お問い合わせ

東北工業大学 Well-being 研究所

仙台市太白区二ツ沢6番 東北工業大学 長町キャンパス
TEL: 022-304-5527 (経営コミュニケーション学科事務室)
E-mail: well-being@toitech.ac.jp